

学生時代

【作詞・作曲】平岡精二

0/3

□□□ 1.

つたのからまるチャペルで 祈りを捧げた日
夢多かりしあのころの 思い出をたどれば
なつかしい友の顔が ひとりひとり浮かぶ
重いカバンを抱えて通ったあの道
秋の日の図書館の ノートとインクのにおい
枯葉の散る窓辺 学生時代

2.

讃美歌をうたいながら 清い死を夢みた
何のよそおいもせずに □数も少なく
胸の中に秘めていた 恋へのあこがれは
いつもはかなくやぶれて一人書いた日記
本棚に目をやれば あのころ読んだ小説
過ぎし日よわたしの 学生時代

3.

ローソクの灯に輝く 十字架をみつめて
白い指をくみながら うつむいていた友
その美しい横顔 姉のように慕い
いつまでも変わらずにと 願った幸せ
テニスコート キャンプファイヤー
なつかしい日々は帰らず
すばらしいあのころ 学生時代

□□■ 1.
つたのからまるチャペルで₁／₃
祈りを捧げた日

夢多かりしあのころの
思い出をたどれば
なつかしい友の顔が
ひとりひとり浮かぶ
重いカバンを抱えて
通ったあの道

秋の日の図書館の
ノートとインクのにおい
枯葉の散る窓辺 学生時代

□■ 2.

讃美歌をうたいながら
清い死を夢みた
何のよそおいもせずに
□数も少なく
胸の中に秘めていた
恋へのあこがれは
いつもはかなくやぶれて
一人書いた日記
本棚に目をやれば
あのこと読んだ小説
過ぎし日よわたしの
学生時代

■■■3.

ローソクの灯に輝く
十字架をみつめて
白い指をくみながら
うつむいていた友
その美しい横顔
姉のように慕い
いつまでも変わらずにと
願った幸せ
テニスコート
キャンプファイヤー
なつかしい日々は帰らず
すばらしいあのころ
学生時代

End